

# 社会福祉普及校

令和7年度 活動報告集



赤い羽根共同募金



を活用しています。

# 目次

## 小学校

---

開智小学校 … P.01

---

源池小学校 … P.02

---

筑摩小学校 … P.03

---

旭町小学校 … P.04

---

田川小学校 … P.06

---

鎌田小学校 … P.07

---

中山小学校 … P.08

---

島立小学校 … P.09

---

菅野小学校 … P.10

---

芳川小学校 … P.11

---

寿小学校 … P.12

---

岡田小学校 … P.13

---

山辺小学校 … P.14

---

今井小学校 … P.15

---

明善小学校 … P.16

---

並柳小学校 … P.17

---

四賀小学校 … P.18

---

大野川小学校 … P.19

---

奈川小学校 … P.20

---

## 中学校

---

丸ノ内中学校 … P.21

---

旭町中学校 … P.22

---

松島中学校 … P.23

---

高綱中学校 … P.25

---

筑摩野中学校 … P.26

---

山辺中学校 … P.27

---

会田中学校 … P.28

---

大野川中学校 … P.29

---

奈川中学校 … P.30

---

梓川中学校 … P.31

---

波田中学校 … P.32

---

鉢盛中学校 … P.33

---

## 高等学校

---

エクセラン高等学校 … P.36

---

信濃むつみ高等学校 … P.37

---

松本深志高等学校 … P.39

---

松本美須々ヶ丘高等学校 … P.40

---

## ろう学校

### ・ 養護学校

---

長野県松本ろう学校 … P.34


---

長野県松本養護学校 … P.35

---

## 令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	開智小学校	学校長名	玉水 智香子
所在地	〒390—0876 松本市開智 2-4-51 TEL 32-0006 FAX 37-1169	児童数	539名
担当教諭名	和田 信子		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
講演会	11月4日 全校	全校児童を対象に、「やさしさ“つむぎ”プログラム」の中の『ユニバーサルデザインゲーム』の講演会を行いました。ユニバーサルデザイン（UD）の製品や写真からUDの説明をしていただいて、ポスターの中のUDの箇所を探す活動をしました。ユニバーサルデザインのモノや考え方について学び、どんな人にも優しく、住みやすい社会にするためにはどうしたら良いのかを考えるきっかけとなりました。1年生は、遠足で公園を通った時、階段の横にスロープがあるのに気づき、「ユニバーサルデザインだね。」「車いすの人も使いやすいね。」などと話していました。
児童会の取り組み	11月 全校	児童会のなかよし委員会の主催で、『キラぼかの木』という活動を行いました。「友だちがキラキラしていたこと」や「友だちにありがとう」ということをカードに書いて届け、模造紙に貼りました。友だちの良さを改めて意識したり、友だちに感謝の気持ちを伝えたりする活動となりました。
高齢者との交流	10月、11月 各1回 4, 5年生 探究活動 交流グループ 	高齢者の方と昔の遊び（あやとり、お手玉）、坊主めくり、座ったままでできる体操、子どもたちが描いた手作りの塗り絵やピンポン玉ゲームなどを行って交流しました。耳が遠いから大きな声でゆっくり、はっきり話したり、敬語を使ったりなどお年寄りに合わせた話し方で交流することができました。

## 令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書



学校名	松本市立源池小学校	学校長名	田原 和幸
所在地	松本市県3-5-1	児童数	225名
担当者名	北澤 千枝		

活動事業名	実施時間・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
<p>【花の栽培】</p>	<p>通年</p> <p>全校</p>	<p>・こども会のみどり委員会を中心に、校内及び道路沿いの花の栽培活動に取り組んだ。敷地内の緑豊かな環境を生かして、児童発案の「自然スタンプラリー」などの活動を企画し、全校児童が楽しみながら草花に親しむ機会を作った。</p>
<p>【大相撲源池場所】</p>	<p>9月17日（水）</p> <p>全校</p>	<p>・保護者、地域の方、近隣保育園等を招いて大相撲源池場所を開催した。毎年楽しみに来校されている方も多く、大きな声援を送っていただいたり、取組み前後に児童に声をかけていただいたりした。</p>







## 令和 7 年度 社会福祉普及校事業活動報告書

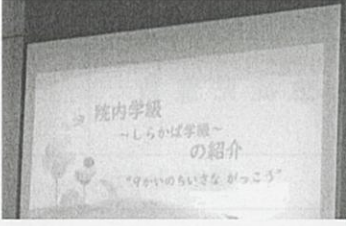




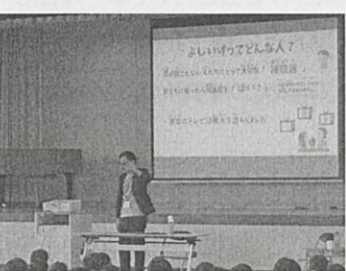
学 校 名	松本市立筑摩小学校	学校長名	五明 佳代
所 在 地	〒390-0821 松本市筑摩1丁目8番1号 TEL0263-25-0090 FAX0263-290868	生徒児童数	363名
担当教諭名	柳澤 喜代子		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
環境整備 (花を育てる活動)	環境委員会 通年	環境委員会の児童を中心に、花壇やプランターに花を咲かせる活動に取り組んだ。委員会での土づくり・水くれや花の摘み取り等の活動に取り組み、校舎周辺の環境を整えることができた。
収集・リサイクル 	全校児童 通年	環境委員会の呼びかけで、アルミ缶・ベルマーク・ペットボトルキャップの収集を全校で取り組んだ。 アルミ缶は 50K ペットボトルキャップは 63.5K 収集できた。
ゴミ拾い活動・ せせらぎ清掃活動 	3年2組 10月 11月  6年2組 10月	庄内公園のゴミ拾い活動 松本市伊勢町のあるせせらぎ清掃をした。 地域の方々と一緒に清掃活動に取り組んだ。  庄内地区福祉広場の清掃活動 地域の方々と一緒に清掃活動に取り組んだ。  それぞれ、クラスでの活動であったが、全校が環境整備の意識を高めることができた。

令和7年度 社会福祉普及校活動報告書





学 校 名	松本市立旭町小学校	学 校 長 名	高野 毅
旭 町 小 学 校	〒390-0802 松本市旭2-4-4 Tel.0263(32)1124 fax0263(37)1171	生 徒 児 童 数	335 名
担 当 教 諭 名	村上 まり	児 童 代 表 名	勝亦 とうか

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
<b>交流活動</b> 松本盲学校	通年:全校    	<p>【松本盲学校との交流及び共同学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月に盲学校紹介式を行い、盲学校の学校や学習の様子、小学部の一人一人の紹介を行い、今年度の交流をスタートした。</li> <li>・1・2・3・6年生は、音楽や道徳・社会科などで交流共同学習を行った。</li> <li>・運動会の短距離走に盲学校の児童も参加した。一緒に表現を楽しんだり、応援し合ったりする姿が見られた。</li> <li>・盲学校の運動会の前に、校庭の草取りを行った。</li> <li>・4年生は、盲学校で鉄線走を体験した。</li> <li>・校内音楽会には、盲学校の児童が練習から参加し、一緒にステージに立って演奏をした。</li> <li>・交流学級の1・2・3・6年生となかよし学級は、盲学校文化祭のリハーサルを見せていただいた。</li> <li>・11月になかよし委員会が盲学校に見学に行き、生活の様子を見たり、遊びや運動を体験したりした。</li> <li>・児童会祭りでは、なかよし委員会の児童が盲学校の児童と一緒に係活動をした。11月の交流で盲学校の友達から教えてもらったポッチャの体験を生かし、アイマスクをしたプレーヤーに音を鳴らしてペットボトルの場所を知らせ、ボールを投げて当てるというルールを用いた。全校児童が、盲学校のポッチャを体験した。</li> <li>・とことん講座(クラブ活動)では、盲学校児童も旭町小学校のクラブ活動に参加し意欲的に取り組んだ。また、点字講座を盲学校職員が担当してくれたことで、点字を打つ体験を行うことができた。</li> <li>・6月になかよし学級と盲学校で顔合わせ会を行い、ボール回しゲームとクイズを行った。また、盲学校のハローアニマルと一緒に参加した。</li> <li>・11月になかよし学級と盲学校交流会で、クイズ大会や点字当てっこゲーム、ビンゴゲームを行った。</li> <li>・1月になかよし学級と盲学校交流会で、ころがしドッチボールやビンゴゲームなどを行った。</li> <li>・あさひカフェでは、休み時間に盲学校で教えてもらったルールを用いたポッチャや、だれでも楽しめる遊びを考えて行った。他学年と一緒に遊ぶことで、年齢の違う友だちに配慮をしながら交流を深めた。</li> </ul> <p>○盲学校が近く、盲学校の児童との交流を日常的に重ねることで、互いをより身近な存在としてかかわることができている。これからも継続して交流をしていきたい。</p>

<p>交流活動 院内学級</p>	<p>なかよし委員会(児童会)・全校</p> 	<p>【院内学級との交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会の時間に、児童が院内学級に関することについての質問を考えた。それをもとに、院内学級の様子や入院中の児童の学習や生活の様子を、体育館にて行った全校集会で紹介してもらうことができた。</li> <li>○院内学級と交流できる環境を大切にして、互いにとって有意義な交流が行われるように、交流方法を適宜検討しながら続けていきたい。</li> </ul>
<p>交流学習 地域の方々</p>	<p>通年:全校</p>   	<p>【地域の方々に支えていただいた活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館活動の一環で、登校の見守りや地域探検のサポートをしていただいた。</li> <li>・1・2・3年生の交通安全教室の見守りをしていただいた。校外へ出た2年生の歩行練習では、交差点での安全を見ていただいた。</li> <li>・遠足など行事の際の同行やお豆腐づくり、火縄銃講習会などのボランティアとして支援をしていただいた。</li> <li>・あさひカフェ(休み時間の遊び交流)を毎週木曜日に行った。地域の方にアドバイザーとしてかかわってもらうことで、多角的な視点であさひカフェの運営を行うことができた。</li> <li>・全校では、お世話になっている地域の方をお招きして、1学期に「学校応援団紹介式」、3学期には「学校応援団の地域の方(笑顔の会)へ感謝を伝える会」を行った。</li> <li>・6年生は、お世話になった地域の方へ感謝の気持ちを込めて、3学期に奉仕活動として地域の清掃を3月に行う予定。</li> <li>○児童が安心して活動に臨めるように協力をお願いすることで、快く活動に参加しサポートしていただいた。地域の方が変わらず温かく学校に支援の手を差し伸べてくださっていることに感謝すると共に、交流を続けていけるよう工夫していきたい。</li> </ul>
<p>人権月間</p>	<p>全校</p>  	<p>【全校人権月間】11月のなかよし(人権)月間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学級で人権について学び、月間中は、校長先生のお話や人権を考える本紹介コーナー、友だちのいいところを花の形に折った折り紙に書いて掲示する「花咲き山をつくろう」、ペア読書などを行った。</li> <li>・人権月間中、全校集会で松本ろう学校の吉池直樹先生による「きこえないって何だろう?」と題した講演会を行った。聴覚障がいをお持ちの方の生活や思いに触れて、自分の行動や関わり方について考えることができた。</li> <li>○月間では、花咲き山の花が少しずつ増えていくことで、思いやりの広がりが見え、全校に温かい気持ちが生まれた。講演会では、吉池先生の手話と手話通訳士の方のお話を聞き、改めて聴覚障がいの方とのコミュニケーションの取り方について知るよききっかけとなった。生きにくさを持っている方々に寄り添い、共に歩むことができるようにしていきたい。</li> </ul>




## 令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立田川小学校	学校長名	木船 暁美
所在地	〒390-0841	児童生徒数	267名
	松本市渚1丁目5番34号 Tel: 0263-26-1377 fax: 0263-29-0890		
担当教諭名	笠原 愛		

活動事業名	実施期日・実施学年	活動内容・感想・今後の課題等
性の多様性講座	11月14日 低学年・高学年 【2回に分けて実施】	「人間と性」教育研究協議会 白澤章子さんを講師に迎えて実施。「自分らしくていいんだよ」という内容で講座を行い、自分らしく生きることと認めていくことの大切さを学んだ。 
メディアリテラシー講座	9月26日 ☆4、5年生 ☆保護者の希望者	子どもとメディア信州の方を招き、メディアリテラシー・情報モラルについての講座を実施。情報についてどう向き合っていけばいいか考えることができた。
認知症サポーター養成講座	11月7日 5年生	中央西地域包括支援センターの方を招き、認知症について学ぶ講座を実施。認知症の方との接し方や知識を学ぶことができた。 
交流 ・地域との方 ・幼保育園 ・異学年交流	・月1の交流会 ☆1・2・5年 ☆地域の方 ・幼保育園との交流会 ☆4年 ・全校	・月に一度の交流会の場所として学校を開放し、異年齢の人たちの憩いの場所づくりを行った。相手を思う行動や考え方について学び、実践しようと意欲をもつことができた。 ・4学年児童が近隣の園との交流学习を実施。児童が考えた遊びや手作り玩具と一緒に遊んだり、保育園にも出かけ、保育園児の考えた企画で交流したりして深めることができた。 ・誕生日で集まり、名刺交換やゲームなどをして楽しみ多くの人の関わりについて学んだ。  
なかよし月間	11月 全校	児童会を中心に様々な取り組みを行い、自分と相手との違いや良さに気づき、お互いを認め合う意識を高めることができた。 <活動内容> ・なかよし集会（全校集会） ・なかよしの木 ・名刺交換 ・姉妹交流で遊ぼう ・スマイルランチ（姉妹学級）
収集、リサイクル	通年 全校	児童会の活動として実施 ・ペットボトルキャップ収集を月一回で実施。（代表委員会） ・ベルマーク収集を学期に一回、全家庭に収集袋を配布して実施。（運動委員会） ※協力できる範囲で家庭が収集に協力してくれている

## 令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	鎌田小学校	学校長名	山 崎 啓	
所在地	〒390-0837 松本市鎌田1-8-1 TEL 0263 (25) 0835 FAX 0263 (29) 0891		児童数	826名
担当	勝野 礼子			

活動事業名	実施期日 参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
収集・ リサイクル	通年(全校)	<p>○ペットボトルキャップの収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル委員会が中心となり、昇降口に回収箱を設置している。委員が当番制で呼びかけを行った。今年度はキャップ回収箱の投入口を動物の口に見立てたイラストを掲示するなどの工夫により、例年以上に多くの協力が得られた。結果、約200kg(約10万個)のキャップを回収し、たくさんのワクチンと交換し多くの命が救える量を集めることができた。</li> </ul> 
花植え交流	なかよし学級 (7月・ 児童14名)	<p>○鎌田地区公民館 福祉広場にて花の苗植え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なかよし学級の児童が種から大切に育ててきたマリーゴールドの苗を、鎌田地区公民館のプランターへ移植した。毎年恒例行事になってきたが、作業を通して、地域とのつながりを肌で感じるとともに、自分たちの手で公共施設を彩ることで施設を大切に利用しようとする気持ちを高めることができた。</li> </ul> 
施設交流	リサイクル委員会 (12月・ 児童代表)	<p>○ツクイ松本デイサービスへの訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月、リサイクル委員会の正副委員長が交流会の司会者として訪問し、学校に残った委員がスクリーンを通してクイズを出し、それに答えてもらうオンライン交流を行った。児童からは「喜んでもらえてうれしかった」「交流した相手が笑顔になってうれしかった」という感想があった。また、「クイズが簡単だったから、もっと工夫できればよかった」といった相手の立場に立って思いやる大切さに気付くことができるなど、貴重な交流の機会となった。</li> </ul> 



## 令和7年度 社会福祉普及校年間事業報告書

学 校 名	松本市立中山小学校	学校長名	宮田 恭子
所 在 地	〒390-0823 松本市大字中山3517 TEL 58-5823 FAX 85-1395		児童数 102 名
担当教諭名	久保 紀江 (教頭 大王 雅喜)		


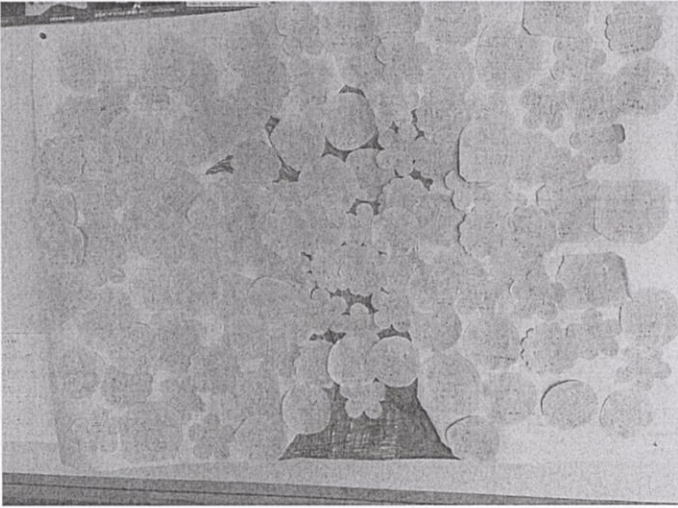
活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
<環境整備> ○花の育苗 ○花壇 ○パンジー	4月から通年 6年生児童14名 5年生児童17名 4年生児童20名 3年生児童17名 2年生児童15名 1年生児童19名 (全校)	<div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="width: 100%;"> <p>○花壇 6年生が中心になって昇降口の横にあるメイン花壇に花を植えて毎日の水やりを行いました。</p> <p>○1～5年生みんなでパンジーの花を育てています。寒い冬の時期にも、教室に緑がたくさんあります。6年生に「おめでとう」の気持ちが伝わるように願いを込めながら育てています。</p> </div> </div>
<収集・リサイクル> 薬草集め  アルミ缶集め 	年1回 全校児童102名      年1回 全校児童102名	<p>○児童会の代表委員会を中心になかよし班ごとに「薬草集め」を行いました。5月20日には全校で学校周辺を、また家でも週末や夏休みを利用してたくさんの薬草を集めました。乾燥させた薬草を集められました。</p> <p>○児童会の環境委員会を中心に全校に呼びかけ「アルミ缶集め」を年1回行いました。どのクラスもたくさん集められました。</p> <p>○収益金は、全校でアンケートをとりながら相談し、みんなで仲よく遊ぶためのスポーツの道具や地区の施設に寄付しようと考えています。</p>
<体験活動> 劇の発表 	4年生19名	<p>○毎年4年生は、総合的な学習の時間に「泉小太郎」について学習をします。今年は劇で表現し、学校で全校に発表したり、地域の文化祭、公民館（福祉ひろば）での交流集会で発表したりしてきました。地域のみなさんも毎年楽しみにしている発表の一つになっています。福祉ひろばの発表会後には、福祉ひろばに来た方々と交流もできました。</p>

令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立島立小学校	学校長名	山口 弘子
所在地	〒390-0852 松本市島立 3298 Tel.0263-47-2159 Fax0263-40-1365	児童数	257名
担当教諭名	祖父江 資子		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題
福祉ひろば交流	6月25日 3年1組(25名) 10月1日 3年1組(24名)	<p>・地域の方々と一緒に、ニュースポーツ(ニチレクボール、モルックなど)を行い楽しんだ。また、子どもたちの学習発表としてクイズ、歌、ダンス等を見ていただき、地域の方からは昔ながらの遊びやお話を教えていただいた。毎年交流をしているが、お世話になっている地域の方々と触れ合う良い機会となった。</p> 
環境整備	通年・児童会	<p>・園芸委員会の通年活動として、季節に応じた花の栽培を行った。種から育てたり苗を植えたりと育てた花は、昇降口前の花壇や学校の正面玄関前の花壇に植えた。委員会の児童が当番活動として、水やりや草取りなどにも熱心に取り組む姿が見られた。また、パンジーの鉢の栽培を行い卒業式等の行事会場にも飾る予定である。</p> 

学校名	菅野小学校	学校長名	梅田 久仁
所在地	〒399-0033 松本市笹賀 3460 Tel 58-2482 FAX85-1399	児童数	554名
担当教諭名	中村 晋也 (児童会担当)		

活動事業名	実施期間 参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
スガレンジャーを探せ (健康、社会福祉理解 ・異年齢交流)	11月 (全校児童)	<p>期間中の2時間目休み、姉妹学級のペアでウォークラリーを行い、親睦を深めながら、健康や社会福祉についてクイズに答えながら学びを深めた。みんなが気持ちよく生活するために大切にしたいことなどについて理解が深まった。</p> 
咲かせよう！喜びの花 (自己理解・他者理解・ 共生、思いやり)	11月～1月 (全校児童)	<p>全校児童で「学校の良いところ」を2000個集める活動を行った。後半には花の形のカードに記入し模造紙に貼ることで大きな木を完成させた。自己理解だけではなく他者理解も深まり、色々な人と協力して生活したい、支え合いたいという気持ちが高まっていた。</p> 
クラス対抗大縄とび大会 & 姉妹学級交流 (健康・異年齢交流・思いやり)	1月 (全校児童)	<p>大縄(クラス全員で一斉に跳ぶ)に挑戦し、姉妹学級で回数を競った。お互いに応援し合う姿があった。また、低学年に設けたハンデを受け入れて交流していた。各姉妹学級でも様々な遊びを通して交流を深めた。</p>

令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立芳川小学校	学校長名	中山 靖隆
所在地	〒399-0032 松本市小屋北2-5-1 Tel 0263-58-2030 FAX 0263-85-1396	児童数	757名
担当教諭名	岡田 和子		
活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等	
(1) リサイクル活動	4月～2月 全校	<p>児童会のリサイクル委員会が主体となり、全校児童に牛乳パックの回収を呼びかけた。</p> <p>週2回の回収日を中心とした活動であったが、子どもたちの活動を知った地域の方々が学校へ牛乳パックを持ち込んでくださる方もいた。また、3R週間を企画し、児童集会等で回収について呼び掛けたり3Rについて知ってもらったりした。</p> <p>回収した牛乳パックは、施設の方にお渡しし、施設で換金し利用していただく。</p> <p>今後も、児童会活動の一つとして、牛乳パック回収を行っていく予定だ。</p>	
(2) 講演会 ①性の多様性講座	9月9日(火) 全校	<p>低学年(1～3年)と高学年(4～6年)に分かれて、性の多様性についての話を聞いた。性別に関係なく、自分の好きな色、好きなものを大切にしていること、自分らしくて良いことについて講演していただいた。子どもたちからは「自分らしくていいんだと知って、安心した。」「男の子とか女の子とか関係なく、自分の好きなものを好きでいいとわかった。」という感想が聞かれた。</p> <p>今後、講話の内容が生きるように、地域の様々な方と交流活動を継続的に行い、人との関わり方について考える機会としたい</p>	
	11月12日(水) 高学年	<p>講師お二人のタッグ講演を聞いた。人は助け合いながら生きていくこと、自分のままでいいということについて講演していただいた。</p> <p>「いろいろな人がいるということを知った」「困った時には自分から言いたい。」という感想が聞かれた。</p>	



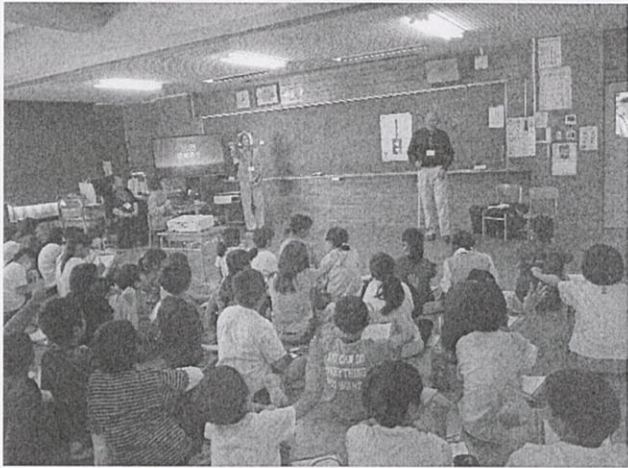

# 令和7年度社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立寿小学校	学校長名	倉澤 啓
所在地	〒399-0021 松本市大字寿豊丘1004 TEL 0263 (58) 2106 FAX 0263 (85) 1397	児童数	612名
担当教諭名	土田 詩織		

活動事業名	実施期日・参加人数	活動内容・感想・今後の課題等
施設訪問、交流	3・4年生 特別支援学級 通年 	<p>地域の福祉ひろばや公民館へ行き、踊りの発表をしたり、お年寄りや地域の方々と一緒に遊ぶ等の交流をしたりした。地域の方々に学校に招待し、一緒に給食を食べるなどの交流も行った。また、特別支援学級では、育てた野菜や、漬物などの加工品を販売する活動を行った。</p> <p>子どもたちは、「一緒に交流ができて、心が通じ合ったと感じた」「相手の気持ちを理解することで、関係が深まった」など、小さな触れ合いに感動する姿が見られた。</p> <p>地域の方々からも、「子どもたちから元気をとやる気もらえた」「これからも、交流を続けて欲しい」など、肯定的な感想をいただいた。</p> <p>地域には、様々な立場の方々がいるということ、互いを尊重し合うことが大切だということ、体験を通して学ぶことができた。</p>
保育園児との交流	4年生 通年 	<p>保育園児を小学校に招き、児童が考えたレクリエーションで一緒に遊び、交流を深めた。</p> <p>子どもたちは、「優しく接することができた」「(自分も)昔はこうだったんだなと振り返るきっかけになった」など、思いやりや自己の成長を感じる気もちが生まれた。</p> <p>保育園児も、小学校への憧れが強くなった様子がうかがえ、双方にとって、実のある交流となった。</p> <p>交流を重ねる中で、自分の気持ちや考えを表現する力や、人との関わりの中で自発性を養うことにもつながった。</p>
養護学校の児童との交流	3年生 特別支援学級 通年 	<p>養護学校の児童と一緒に学習をしたり、遊んだりするなどの交流を行った。互いの個性や違いを理解し、多様性について学ぶ機会となった。</p>

# 令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学 校 名	松本市立岡田小学校	学校長名	染川 あゆみ
所 在 地	〒390-0312 松本市大字岡田松岡519 TEL 0263-46-0589 FAX 0263-45-1033	児童数	359名
担当教諭名	矢崎 薫子		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
・福祉体験学習	9月・5年	<p>・「なかよし月間」に合わせて、5年生が「ヘルプマーク」の学習をした。「ヘルプマーク」の意味や種類、いくつかの障がいについて、講師の方からお話をお聞きした。白杖とアイマスクで、視覚障害のある方の歩行や補助者の体験も行い、障がいがある方の困り感や対応の仕方について考えを深めた。</p> 
・環境整備	通年・児童会	<p>・グリーン委員会の通年活動として、季節に応じた花の栽培を行った。メイン花壇や敷地内の花壇に植えた花への水やりや草取り、花の植え替え作業などに、熱心に取り組む姿があった。また、パンジー200鉢ほどの栽培を行い、卒業式等の行事会場にも飾る予定である。</p> 

## 令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	山辺小学校	学校長名	中山 由加里
所在地	〒390-0222 長野県松本市入山辺 34 番地 TEL 32-2619 FAX 37-1173		児童数 555名
担当教諭名	ボランティア委員会担当 丸山 真		

活動事業名	実施期日 ・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
ボランティア 学習 福祉 (体験)学習 講座「やさし さ“つむぎ” プログラム 参加	7月7日 の1回	<p>本校ボランティア委員会では、昨年度から始めた通年の活動である「ちょボラショップ」を行うにあたり、まずはボランティアについて学ぶ必要性を感じ、社協で案内してくださっている本プログラムに応募した。メニュー⑧—1「ボランティアってなあに？」について社協の皆様を講師に迎えて学習した。4～6年の混ざった集団であるが、とても具体的なお話で分かり易く、ボランティア活動に対するイメージがわいた。ボランティア活動を推進していくボランティア委員会のために、毎年1～2回お願いをしたいと考えている。</p>
ちょボラショ ップ(ボラン ティア委員 会の当番活 動)	通年	<p>昨年度の途中から「ちょボラ」を活動の中心に据え、「ちょボラショップ」を当番活動とし、全校に呼びかけてちょボラを日常的に進め始めている。ちょボラをして、ボランティア委員に報告すると、「ちょボラコイン(牛乳のふたに柄を貼ったもの)」がもらえる仕組みである。そこで得た「ちょボラコイン」を使って、景品と交換する交換会(児童会祭りと兼ねて)を設けた。ここに向けて、毎回の児童会の時間に景品づくりにいそしむ様子があった。児童会祭りの企画も成功に終わった。少しずつちょボラの輪が広がり始めている。子どもたちのボランティア活動が自然でかつ日常的な、身近なものになればよいと願っている。</p>
ボランティア 委員会と美 化委員会の コラボ掃除 企画	夏休み明 け	<p>ボランティア委員会と美化(清掃)委員会のコラボということで、昨年度、委員会の役員が企画し、今年度も休み明けの学校をボランティアできれいにしようと、体育館の掃除を行った。</p>



## 令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	今井小学校	学校長名	安藤 隆子
所在地	〒390-1131 松本市今井1616 Tel 59-2003 FAX 59-1009	児童生徒数	161名
担当教諭	平野 友子		

活動事業名	実施時期・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
1 福祉ひろば交流	1年生 (31名) 歌とダンスを届ける会 (9月)	(1年生) 福祉広場に行き、歌とダンスの発表を行った。お年寄りの方々とハイタッチをしたりして交流した。「おじいちゃん、おばあちゃんによるこんでもらえて嬉しかった。」という子どもたちの感想が多くあった。
	2年生 (18名) クリスマス会 (12月)	(2年生) 福祉ひろばに行き、ダンスの発表をした。その後、お年寄りの方々と簡単なゲームをして交流した。最後にはプレゼントを頂いた。
	3年生 (32名) 昔の生活と道具について教えていただく会	(3年生) 学校内の資料館で昔使っていた農具の使い方や軍服や貨幣について教えていただいた。
	4年生 (35名) 認知症サポーター講座 (10月)	(4年生) 認知症の方との関わり方について劇などを交えてわかりやすく教えていただいた。
	お正月飾りづくり (12月)	・福祉ひろばの方に学校に来ていただいて、お正月の飾り作りを行った。 丁寧に教えて頂き、子どもたちは自分たちの作ったお正月飾りを満足そうに持ち帰った。
	5年生 (25名) 俳句づくり	(5年生)・学校に来ていただいて子ども達が俳句を作る手助けをしていただいた。季語や有名な俳句を紹介してくださったり、子ども達の言葉選びをサポートしてくださったりしていただいた。
2 松本養護学校との交流	「戦争の話」(12月)	(6年生) 地域の方にご来校いただき、「今井の子どもと戦争」の題で戦中の今井の様子をお話しいただいた。
	通年 (161名)	・本校に隣接する松本養護学校小学部の児童と通年交流を行い、交流を通して、共に活動する楽しさや、相手を思いやる気持ちや、共にあることが当たり前である気持ちを学んでいる。年に3回の交流を計画し、ゲームをしたり、音楽活動の発表をしたり、プレゼント交換をしたりして交流を深めた。 ・6年間通じて長い期間にわたり交流をしていくので、学年が上がるにつれ、お互いに顔見知りになり、お互いに声を掛け合ったり、成長を喜び合ったりする姿が見られた。





お正月飾り作り



松養交流のプレゼント

## 令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立明善小学校	学校長名	林 淳子
所在地	〒399-0021 松本市寿豊丘813-7 TEL0263-58-3244 FAX85-1398	児童数	380名
担当教諭名	ボランティア委員会担当 松村 大 幾嶋芙佑華 1学年 川上 桂奈 百瀬由岐野		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
ペットボトルキャップの収集活動	8/28(木)～9/5(金) 全 校	ボランティア委員会が企画し、行った収集活動。ペットボトルキャップ回収が開発途上国の子どものワクチン接種につながることを委員会児童が呼びかけ、学年別に回収箱を用意した。委員会で計測したところ、全校で約102kg（約50人分のワクチン）のペットボトルキャップが集まり、社会福祉協議会に届けることができた。
保育園や幼稚園との交流	<p>&lt;なかよし音楽会&gt; 7/1(火) 内田保育園 11名 松本短大幼稚園 41名 青い鳥幼稚園 74名 合計126名</p> <p>&lt;来入見1日入学&gt; 1/21(水) 来入見 50名</p> <p>&lt;交流会&gt; 2/18 寿東保育園 2/19 松本短大幼稚園 2/20 青い鳥幼稚園 2/24 内田保育園</p>	<p>校内音楽会を終えた1・2年生が近くの幼稚園・保育園の年長さんを招待して音楽会を企画した。司会や進行も子どもたちが務め、のびのびと発表することができた。1年生から「楽しかった」「保育園や幼稚園のお友だちに楽しんで聞いてもらえてよかった」といった感想があった。園の子どもたちからも「たのしかった」「じょうずだった」等の感想をもらった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>来入見1日入学で1年生と来入見の交流を行った。1年生が会の進行をして、「ドキドキドン1年生」の歌を歌ったり、ぶんぶんごまを一緒に作り、回し方を教えたりして交流した。</p> <p>今年も近隣の保育園・幼稚園の年長さんを学校に招待して、一緒に遊ぼうと交流の計画をたてた。子どもたちの話し合いにより、ドッジボールや鬼ごっこ、昔の遊び、工作などをして一緒に遊びながら交流をした。</p>
寿台養護学校や松本ろう学校との交流	通 年 全 校	各学級担任と交流相手校の職員と交流担当者会議を年の始めと終わりに行っている。各学年や学級で連絡を取り合って、計画をたて交流を深めている。一度きりの交流にならないよう複数回行うようにしている。明善小に招待したり、相手校を訪れたりして交流を深めた。

学校名	松本市立並柳小学校	学校長名	山本 純子
所在地	松本市並柳4丁目9番1号		
担当教諭	加藤 恵子		

活動事業名	実施期日	活動内容・感想・今後の課題等
・交流活動     	2月	<p>・今年度は、学級や学年単位で地域福祉交流に焦点を当てて学習に取り組む学年、クラスがいくつかあった。本校の学区には、「松本山雅FC」の事務所があり、松本山雅では、パラスポーツにも力を入れている。具体的には、デフサッカー、ブラインドサッカーである。計画当初は、人権教育月間である11月にデフサッカーを体験する予定であったが、デフリンピックに出場したため、実施は叶わなかった。しかしながら、2月に再度連絡を取ったところ、「ブラインドサッカーの体験はどうか」と提案していただき、ブラインドサッカーの体験が実現した。</p> <p>・子どもたちは事前の学習でブラインドサッカーについていろいろなことを調べた中で、パラリンピック日本代表の一人である平林太一選手が松本山雅ブラインドサッカーチームに所属していることが分かり楽しみにしていた。</p> <p>・当日は、かつて日本代表である中沢医（いたる）選手他3名のスタッフにお越しいただき、体験を行った。アイマスクをつけて全く見えない状態でサッカーをすることに子どもたちは最初は躊躇する姿があったが、次第に楽しさを見出していった。またシャカシャカという音を頼りにボールを追うために、いつもよりも集中力を働かせたり、見えない人にボールの位置を示すために、大きな声で「ここだよ！」と叫んだり、手を叩いてゴールの場所を教えるなど、難しさの中でも工夫を見出していった。</p> <p>・講師の中沢選手がブラインドサッカーでは「コミュニケーションが重要」とおっしゃっていた。そのためには「きくこと」「話すこと」そして「思いやり」が大切だと話されていたことが印象的だった。見えない分、その3つを見えている人よりも大事にされていることが分かり、子どもたちは真剣な眼差しで話を聞いていた。</p> <p>・子どもたちの感想には、「見えないのに怖がらず、あんなに動けてすごい」「まるで見えているかのように素早く動くために、耳でしっかりきいたり、声を出したりしていた。自分が見えるけれどもこれらのことを大事にしたい」「思いやりが大切だということが心に残った」とあった。</p> <p>・今回20000円の体験費用を、無理を言って補助金内で収めていただけた。続けていくためにもぜひ今後も補助金をお願いしたい。</p>

## 令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立四賀小学校	学校長名	荻部 あゆみ
所在地	〒399-7402 松本市会田1113番地 Tel. 0263-64-1070 Fax 0263-64-1071	生徒児童数	112名
担当教諭名	西村 香織（教頭） 村石 真理子		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
訪問交流事業	<b>9月9日（火）</b> <b>3年生 19名</b>	<p>○ <b>四賀福祉ひろばの皆さんと交流会</b></p> <p>・福祉ひろばの皆さんと「新聞じゃんけん」「じゃんけん列車」「トランプ」を行った。どちらのゲームも年齢や体力に関係なく楽しむことができ、和やかに交流することができた。また、お菓子を食べながら、参加者の皆さんと会話を楽しみ、交流を深めた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
	<b>12月18日（木）</b> <b>3年生 19名</b>	<p>○ <b>四賀福祉ひろばの皆さんとクリスマス会</b></p> <p>・クリスマス会に向け、合奏・ダンスを考えて練習した。当日は、参加者の皆さんにも楽器を手渡して一緒に演奏するサプライズがあり、楽しい時間となった。また、クリスマスケーキを食べながら、参加者の皆さんと会話を楽しみ、更に交流が深まった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

## 令和7年度 社会福祉普及校活動報告書

学校名	大野川小学校	学校長名	馬場 英晃
所在地	松本市安曇 3886-1 TEL93-2224	児童数	21名
担当教諭名	中澤 清子		

活動事業名	実施日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題など
地域の環境整備 	5月 全校	地域の環境整備の活動として、美化活動を5月に行った。乗鞍の観光スポット「番所大滝」「善五郎の滝」の周辺を、全校で手分けをしてゴミ拾いをした。高原地域には相応しくない家庭ごみが落ちていることもあり、環境を整備していくことの大切さを知ることができた。
外来植物駆除 	5月 全校	地域の自然保護の専門家にいらしていただき、実際に校舎周辺に生えている外来植物の駆除活動を行なった。毎年続けている活動ではあるが、これまでとは違った場所に広がっている実態を知り、外来種の脅威を身をもって理解するとともに、地元活動隊の大変さも感じるきっかけとなった。
地域を知る活動 	12月5年	5学年は1年をかけて、地元の乗鞍岳の調査活動を行った。登山を通して目にしたもの、また疑問に思ったことを徹底的に調べて、ますます、乗鞍岳の雄大さや価値を学ぶことができた。自分たちで調べたことを地域の方にアウトプットすることもできた。
収集活動 	通年 全校	今年はこれまで以上に集めることができた。収集したエコキャップがどのような過程で世界の役に立っているのかを詳しく知りたいという思いをもった。今後の収集活動につなげていくために、探究していきたい。



## 令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	奈川小学校	学校長名	青森 隆俊
所在地	〒390-1611 松本市奈川 2281 TEL 0263-79-2002	児童生徒数	7名
担当教諭名	小川 文徳		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
体験・研究・学習  ① 地域の方と一緒に作物を育てる	参加者は全校児童7名  5月～8月  地域の方に教えていただきながら、畑を作り、トウモロコシなどを育てました	 
	② 地域の祭りで販売  8月9日 「ながわ山彩館」で開催された「ながわマルシェ」にてトウモロコシを販売しました。	
③ その収益を使って、カフェを開催し、地域の方を招待	2月5日 学校にて「カフェ」を開催。今までお世話になった方を招待し、飲み物とデザートを召し上がっていただきました。	

## 令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立丸ノ内中学校	学校長名	坂口 俊樹
所在地	〒 390-0862 松本市宮淵3丁目6番1号 TEL 32-1962 FAX 37-1175	生徒数	218名
担当教諭名	相野 琢己		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題
収集・リサイクル  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px; width: fit-content;">集めたエコキャップ</div>	6月下旬 11月下旬  全校 218名	<p>緑化福祉委員会の呼びかけで、ペットボトルキャップ、プルタブの収集を行った。キャップは業者に持ち込み、ワクチン購入に充て、プルタブも、まとめて社会福祉協議会に送る予定。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <b>収集量</b> キャップ…約 60kg         </div> <p>生徒集会において、収集の目的を伝えることで、ボランティアへの意識を継続することができた。</p>
環境整備  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px; width: fit-content;">文化祭での活動の様子</div>	通年  委員 21名	<p>緑化福祉委員会の活動として、花壇とプランターを使って季節に応じた花の栽培を行っている。</p> <p>今年度は校内でのプランターへの苗の定植や松本城西花壇への定植作業にも参加することができ、地域の方と一緒に交流しながら花を植えることができた。</p> <p>春～秋にかけて渡り廊下にプランターを設置し、ニチニチソウなどの花を定植。生徒が校内を移動する際にも花を楽しんでもらえるように取り組んだ。また、文化祭の時期には、プランターを体育館の前に並べ、保護者を含むより多くの人に花を観賞していただいた。その際には、委員で清掃活動なども行い、環境美化に取り組んだ。</p> <p>冬に入ると、卒業式や来年度の入学式に向けて、他緑化事業の補助金を活用してパンジーやビオラの苗を定植し卒業式に向けて彩を添えられるよう管理している。</p>





# 令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立旭町中学校	学校長名	小松 伸行
所在地	〒390-0802 松本市旭3-7-1 TEL: 32-2048 FAX: 37-1176	生徒数	310名
担当教諭	閨谷 加奈子 中村 和美 小林 純子		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等など
1 収集活動	通年（毎週金曜日） 全校生徒および 職員対象	アルミ缶・ペットボトルキャップ収集  ・全校生徒の協力により、多くのアルミ缶やペットボトルキャップを集めることができました。 ⇒アルミ缶収集の収益は、松本盲学校との交流資金に充てました。アルミ缶収集の収益金でサウンドテーブルテニスの専用ボールを購入し、本校の代表生徒が松本盲学校に伺って贈呈をしました。 ⇒ペットボトルキャップはリサイクル業者を通してユニセフへ寄付しました。
	1月26日～30日 全校生徒および 職員対象	書き損じハガキ収集  ・全校に呼びかけて書き損じハガキの収集を行いました。（長野県視覚障害者福祉協会に送付の予定。）
	11月25日～28日 全校生徒および 職員対象	赤い羽根共同募金  ・全校生徒に呼びかけて募金活動を行いました。（県共同募金会松本市支会に送金。）
2 施設等訪問 交流活動	① 7月8日 （福祉交流委員対象）	松本盲学校への訪問交流  ・松本盲学校を訪問して、中学部生徒のみなさんと交流を行いました。サウンドテーブルテニスの体験交流の形で、約一時間体育館で交流をさせていただきました。
	② 通年	松本盲学校と信大附属病院院内学級との交換日記  ・それぞれの学校と本校の各クラスが、各学期に一回ずつスケッチブックでの交換日記を行い、お互いの学校生活や、自己紹介、応援メッセージなどを書き送って交流しました。
3 文化祭の交流	① 9月25日（木） 全校生徒対象	本校の校内発表会での松本盲学校と院内学級の紹介  ・本校の校内発表会の福祉交流ステージで、松本盲学校や院内学級についてクイズを出したり、サウンドテーブルテニスで交流した様子を紹介したりしました。
	② 10月11日（土）	松本盲学校水仙祭参加  ・福祉交流委員会の委員長と副委員長で、松本盲学校の文化祭へ参加し、ステージ発表で旭町中学校についてのクイズを出したり、旭町中学校の校内発表会の様子を紹介したりしました。

## 令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立松島中学校	学校長名	油井 桐子
所在地	〒390-0851 松本市島内 3986 TEL0263-40-1367 FAX0263-47-3219	生徒数	461 名
担当教諭名	岡村 美紀		

活動事業名	実施期間・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
<p><b>【講演会】</b></p>  <p><b>【体験・研究・学習】</b></p> 	<p>6月12日 全校</p> <p>5月～9月</p> 	<p><b>【日本赤十字社講演会】</b> 全校のボランティア精神を高める目的で、赤十字社の徳武様をお迎えし、能登半島地震等に関する被災地支援についての講演会をしていただいた。</p> <p><b>【講座別学習「福祉活動」</b> (総合的な学習の時間) 福祉に関わる学習会、聴覚障がい・視覚障がい理解を中心に、介助、歩行体験、点字学習、暗闇食事体験、ユニバーサルスポーツ、指文字、手話、手話歌等を3年生8名が学んだ。</p>
<p><b>【文化祭】</b></p>  <p><b>【収集・リサイクル】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミ缶</li> <li>・ペットボトルキャップ</li> <li>・ベルマーク</li> </ul>	<p>9月 全校+保護者</p> <p>通年 全校・全職員</p>	<p><b>【文化祭】</b> 上記で学んだ生徒たちが体験学習での学びを PowerPoint にまとめ、手話歌と併せてステージ発表を行った。</p> <p><b>【家庭のアルミ缶収集】</b> ・毎週火曜日はTボラ (Tuesday ボランティア) の日として位置づけ、アルミ缶、エコキャップ、ベルマークを収集した。 ・収集量の年間目標、月目標を決め、毎回集まったアルミ缶、エコキャップの集計、結果発表をす</p>



・はがき・古切手

2月24日～27日  
全校・全職員

### はがき・古切手収集週間

2月24日(火)～27日(金)

収集したものは、長野県視覚障害者協会に送り、換金され、視覚障害者の生活支援に役立てられます。



ご協力よろしくお願いします。

ボランティア委員会

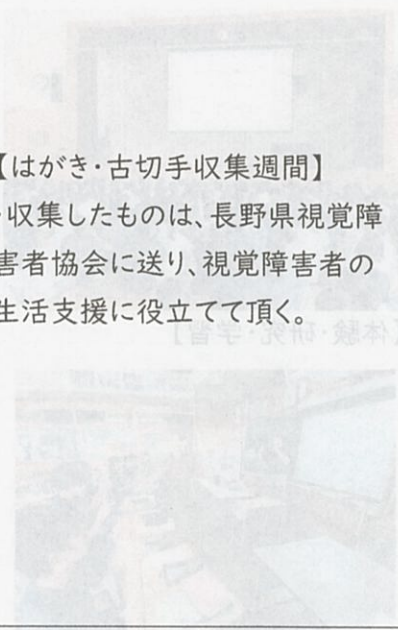
ること、全校への参加や意識付けを図った。

・地区の資源物回収への協力(年4回)では、地区PTAを中心に行った。近年は、様々な事業所で回収を行っているためか、収集量が減少してきている。

・エコキャップは民間のリサイクルセンターに運び、ワクチンに替えて頂く。



【はがき・古切手収集週間】

・収集したものは、長野県視覚障害者協会に送り、視覚障害者の生活支援に役立てて頂く。





## 令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立高綱中学校	学校長名	濱中 浩
所在地	〒390-0852 松本市大字島立4416 Tel 0263-47-3929 FAX 0263-40-1368	生徒数	311名
担当教諭名	久保田 翔 唐澤 紀佳		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題 等
サルビア園整備  	5月～11月 環境委員会を中心に 全校生徒が参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災による校舎焼失という過去を風化させないことを願い、本校のシンボルであるサルビア園の花壇づくりを進めるにあたり、地域の方の協力を得ながら、堆肥作りや土おこしを行い、環境委員会の生徒を中心に、苗や花の管理を行った。</li> <li>・学級ごとにデザインを考え、水やりや草取りに励み、夏休み中も当番を決めて暑い中作業に取り組む姿も見られた。</li> <li>・校舎改築工事の影響で、サルビア園の周りは工事エリアの囲いで覆われているが、本年度の経験を生かしながら、来年度も引き続き生徒会四本柱のひとつ「咲き誇るサルビア園」の実現にむけて努力していきたい。</li> </ul>
収集・リサイクル  	通年 福祉委員会を中心に 全校生徒が参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉委員会の企画により、夏と冬に期間を設け、全校生徒へエコキャップやベルマーク、インクカートリッジの回収を呼びかけた。</li> <li>・エコキャップは社会福祉協議会へ譲渡し、インクカートリッジは当該企業に郵送した。</li> <li>・回収したベルマークは、委員が仕分け及び整理をし、生徒に希望アンケートをとり、学校生活に活用する品々に交換する予定。</li> <li>・今後も様々な活動を通して、福祉活動への関心を高めていきたいと考えている。</li> </ul>


令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	筑摩野中学校	学校長名	美齋津 昭博
所在地	〒399-0035 松本市村井町北2丁目11番1号 Tel 58-2071 fax 85-1441	生徒数	670名
担当教諭	原 洋子 西澤 絵里佳		

活動事業名	実施期日 参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
<p>1 収集活動</p> 	<p>5月、10月</p>	<p>アルミ缶・牛乳パックの収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・真寿園からも協力していただくことができありがたかった。</li> <li>・多くの収益を上げることができた。</li> <li>・地域へ回覧板を回すタイミングを逃してしまい、本年度は活用することができなかった。</li> <li>・リサイクルウィークの実施時期を調整しないと、回覧板を効果的に利用できないことがあるので、今後は気をつけていきたい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>R7年度の収集結果</b></p> <p>5月 アルミ缶 …約80㌦ 牛乳パック…約90㌦</p> <p>10月 アルミ缶 …130㌦ 牛乳パック…117㌦</p> </div>
<p>2 募金活動</p> 	<p>2月</p>	<p>赤い羽根共同募金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会の活動内容を整理したため、時期をずらして実施した。来年度以降実施する場合は、年末に実施できるように調整する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p><b>3,778円</b></p> </div>

令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立山辺中学校	学校長名	河西哲也
所在地	〒390-0221 松本市里山辺3326番地 TEL (0263)32-0267 FAX(0263)37-1177	生徒児童数	296名
担当教諭名	松山美佳		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
①収集・リサイクル 	年間 全校  11月下旬 全校	○家庭で出るアルミ缶を毎週火・水の2日間収集 ・毎週行うことで、アルミ缶収集への意識を途切れることなく持つことができた。 ・昨年度までのように、持ってくる期間を区切って集中して集めるときと比べると効率は下がった。  ○地域と連携したアルミ缶収集期間 ・山辺地区全体でもアルミ缶のリサイクル量が減っていることを地域の回収業者の方から教えていただき、地域全体に協力してもらう大規模なアルミ缶回収を行った。 ・地区の会長さんに協力してもらったり、ポスターを作ったり貼ったり、収集場所に出ているアルミ缶を持って登校したりと学校と地域が1つになって取り組むことができた。 ・公民館に連絡したり回覧板に載せたりしたが、曖昧な部分があり地区によって偏りが出てしまった。
②エコキャップ リサイクル活動	7月・2月 全校	○エコ・キャップ収集強化週間 ・応援ボランティア委員会で企画し、ポスターを作ったり呼びかけを行った。 ・期間中は何個でワクチンが作れるのか、必要な人にどのように届くのかを放送で伝えることで協力してくれる人が増えた。
③募金活動	11月 全校	○赤い羽根共同募金 ・収集期間中は、昇降口やクラスの学活などで、募金を呼びかけた。赤い羽根募金について放送を利用して全校生徒に連絡した。 ・例年行ってこなかったため、全校生徒への周知が不十分だった。今後の課題として考えていきたい。
④人権学習	6月 全校  10月 1年3組 35名	○人権講演会、公開授業 ・三村先生に来ていただき、性の多様性について講演会を行っていただいた。相手を認め、理解することについて学んだ。 ・「ちがいのちがい」についてブロックの公開授業を行った。それぞれグループごとで話し合い、ちがいを確認していくことができた。

学校名	松本市立会田中学校	学校長名	重盛 究
所在地	〒399-7402 松本市会田8923番地 Tel 64-2020 FAX64-2974	生徒数	61名
担当教諭名	津金一彦 山本千英子 征矢野英輝 牛山雄斗 田中美帆 小林里美		

活動事業名	実施期日・参加者	活動内容・感想・今後の課題等
体験学習 講演会	10月7日 1～3学年、職員	<p>〈性の多様性についての学習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>松本市人権共生課から講師を招き、多様性を尊重する地域社会を目指した松本市の取り組みについて知る。</li> </ul> <p>〈LGBT講演会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>LGBTQ当事者の方を招き、話を聞いた。自分らしく生きること、他者理解などについて考える機会となった。</li> </ul>
	11月12日 2学年、職員	 <p>2月17日 3学年、職員</p> <p>〈パーソナルカラー講座〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パーソナルカラー診断師を講師としてお招きし、カラー診断を通して「自分らしさ」とはどんなことかを考える機会となった。</li> </ul>
	11月4日 1学年、職員	<p>〈車いす体験・ボッチャ体験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉協議会の方をお招きし、車いすの使い方やパラスポーツであるボッチャのやり方を教わることで、地域住民の一人として身体障害がある方への理解を深めたり、一緒に関わられるスポーツなどの活動方法について考えたりする機会となった。</li> </ul>
施設・ 交流活動	11月12日 3学年、職員	<p>〈福祉ひろば交流会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の高齢者の方との交流会を行った。生徒が高齢者の方が楽しめるようなレクリエーションや歌を準備し、一緒に活動した。福祉学習で学んだことを生かし、実践的に学ぶことができた。</li> </ul>
収集・ リサイクル 活動	12月 1～3学年、職員	<p>〈赤い羽根募金活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>募金の趣旨について、全校生徒に昼の放送内でどのように使われるのかを説明して募金活動を行った。集まったお金は共同募金会松本市支会に送った。</li> </ul>
	1月 1～3学年、職員	<p>〈書き損じはがき、未使用切手、古切手収集〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長野県視覚障害者福祉協会の依頼を受け、生徒会活動として行った。はがきを募金のつもりで提供してもらおうと呼びかけた。</li> </ul>

## 令和7年度 社会福祉普及校活動報告書

学校名	大野川中学校	学校長名	馬場 英晃
所在地	松本市安曇 3886-1 TEL93-2224	生徒数	7名
担当教諭名	松澤史葉		

活動事業名	実施日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題など
<b>環境整備</b> 	5月 全校	<p>学校周辺にも外来種が多く存在していることを、地元の活動隊の方からお聞きし、実際に現地へ赴いて駆除作業を行った。予想を上回る外来種の多さに驚いた。グラウンドにも生えていて、その量が増えてきていることも実感した。</p>
<b>地域を知る活動</b> 	通年 全校	<p>総合的な学習の時間では、地域の魅力をもっと掘り下げて調べて、発信していこうという取り組みを始めた。各自で課題を持ち、課題解決に向けて活動に取り組み、個人のテーマを探究したことで、地域をより深く知ることにつながった。2月の参観日では、1年間の活動の成果を、保護者の皆さんと共有することができた。</p>
<b>地域を知る活動</b> 	12月 全校	<p>地域のスキー場にごみがたくさん捨てられていることを知った生徒が、何とかして捨てられているごみの量を減らそうと、夏場からグレンデのごみ拾いをしたり、ポスターを掲示して呼びかけたり、私たちの町にあるスキー場を守ろうと総合的な学習の探究活動と合わせて取り組むことができた。</p>
<b>地域貢献活動</b> 	5月 全校	<p>5月には、乗鞍スキー場でわらびを収穫し、そのわらびを市内の料亭に買い取っていただいた。料亭で乗鞍高原産わらびとして、メニューに加えていただいたことで、乗鞍高原をPRする絶好の機会となっている。</p>

## 令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	奈川中学校	学校長名	青森 隆俊
所在地	〒390-1611 松本市奈川 2281 TEL 0263-79-2002	生徒数	8名
担当教諭名	小川 文徳		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
環境整備、 交流、体験  「奈川の自然・奈川の良さ・奈川の歴史を地域の方と一緒に体験し、奈川の未来について考える」	参加者:全校 8名 5月～10月 「畑づくり」 地域の方に教えていただきながら、畑を作り、野菜や花を育てました	
	5月23日 「わらびとり」 地域の方と一緒にわらび採りをしました	
	12月 18日 「デイサービス訪問」 奈川の高齢者施設を訪問し昔の様子を教えてくださいたり歌の交流をしたりしました	
	1月30日 「そば打ち体験」 奈川の特産、そば打ちを地域の名人に教えていただきました	


## 令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	梓川中学校	学校長名	中川 満英
所在地	〒390-1702 松本市梓川梓 800-2 TEL 0263-78-2024 fax 0263-76-1055	生徒児童数	423名
担当教諭名	原 朋絵 小松 洋子 武居 美紗		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
①障がい者施設「梓荘」訪問・交流	・1回目 6月11日(水) ボランティア委員 8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にボランティア正副委員長と顧問とで訪問・交流内容・実施時期について春に打ち合わせを行った。</li> <li>・当初、年3回訪問を予定していたが、施設と中学校内のインフルエンザ、風邪等の感染症が蔓延したため、訪問人数を縮小し、2・3回目は中止せざるを得なかった。</li> <li>・内容：               <ul style="list-style-type: none"> <li>クイズ⇒中学校生活に関する問題。</li> <li>紙芝居読み聞かせ⇒「傘地蔵」</li> </ul> </li> <li>・文化祭前に梓荘との交流ができ、そのおかげで文化祭招待への移行がスムーズに進んだ。</li> <li>・1～3年生を縦割りでクイズ班と紙芝居班に分け、事前練習を行った。練習を積むことで発表経験がない生徒も本番では堂々と発表することができ、自信をつけることができた。また、普段健常者との生活する時間が多い中学生が、障がい者の視点を学ぶことで、視座転換の学びを得た。また、福祉そのものだけでなく、発表技術や対人技術等、委員達の見識を広げる機会にもなった。</li> </ul>
②文化祭招待	・9月26日(金) ボランティア委員 34名 ・梓荘より4名のお客様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭の吹奏楽部の演奏に上記施設利用者を招待した。車椅子介助と誘導・案内を行った。</li> <li>・吹奏楽部の素晴らしい演奏と演出に梓荘の方々が嬉しそうに鑑賞される時間となった。梓荘の方々は車椅子利用で動きに制限はあるものの、楽しそうな鑑賞の姿に委員や吹奏楽部員、全校生徒が触れたことは、意義深い機会となった。</li> <li>・梓荘の方々には中学に来るための外出条件が必要だが、文化祭への招待を心待ちにしていると伺い、中学生にとっても嬉し限りである。よい学びの機会を得て感謝している。</li> </ul>

## 令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立波田中学校	学校長名	三澤 豊
所在地	〒390-1401 松本市波田 10145-1 TEL 92-2034 FAX 92-3746	生徒数	412名
担当教諭名	古畑 純子		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
収集活動 リサイクル	アルミ缶回収 9月8日～12日 全校生徒対象	 <p>今年度も近隣の小学校でペットボトルキャップを収集し、波田中学校ではアルミ缶を収集し、お互いに送り合い、福祉活動の輪が広がる活動を行うことができた。アルミ缶飲料を多く購入する時期を考え、夏休み明けに多く収集できた。</p> <p>また今年度も引き続き 100 kgのペットボトルキャップを業者に持ち込むことができた。</p>
	ペットボトルキャップの収集 通年 全校生徒対象	
福祉事業	書き損じはがき 使用済み切手収集 1月14日～26日 全校生徒	全校生徒の関心と協力を得て、書き損じはがきを約40枚。使用済み切手を約3,000枚収集し、長野県視覚障がい者福祉協会に贈呈することができた。
平和への願い推進事業	千羽鶴作成と献呈 7月1日～23日 全校生徒対象	<p>全校で協力し千羽鶴を折り、松本市の平和祈念式典に納めることができた。</p> <p>&lt;今後の課題について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉交流委員会を中心に収集を主に活動してきた。今後は地域交流活動にも力を入れていきたい。</li> </ul>

## 令和7年度 社会福祉普及校事業報告書

	松本市山形村朝日村中学校組合立 鉢盛中学校	学校長名	藤松 隆雄	
所在地	〒390-1104 東筑摩郡朝日村大字古見 3332 の5 TEL:0263-99-2501 FAX:0263-99-2635		生徒数	399名
担当教諭名	内堀 和果奈			

活動事業	実施時期〔参加者数〕	活動内容・感想・今後の課題等
収集・リサイクル	通年 毎月第4木・金曜日朝 〔福祉環境委員を中心とした全校生徒399名〕 贈呈式は12月10日	《アルミ缶とペットボトル収集》 ・生徒会福祉環境委員会を中心として全校生徒が家庭から持ってきたアルミ缶とペットボトルをリサイクル業者に買い上げていただいた。 ・収益金は例年、地域の福祉施設に寄付して地域の福祉の向上に役立てていただくことになっており、今年度は松本市今井「特別養護老人ホームゆめの里今井」から山崎様にご来校いただき、生徒集会で贈呈式を行った。（今年度収益金は12,848円）
募金活動	11月26日～28日 〔全校生徒399名〕	《赤い羽根共同募金》 ・福祉環境委員が呼びかけ、募金を集めた。山形村社会福祉協議会田中様、宮田様にご来校いただき、生徒集会で贈呈式を行った。（今年度寄付金は9270円）

### アルミ缶、ペットボトル回収の様子

本年度のアルミ缶、ペットボトル回収の様子です。福祉環境委員会の呼びかけにより、例年並の収益金を寄付することができました



### 赤い羽根共同募金 11月26日（水）～28日（金）

朝、福祉環境委員が昇降口で募金活動をしました。募金は地域の福利の向上につながることを全校に説明して、募金を呼びかけました。また、赤い羽根は福祉環境委員がしおりにして募金をしてくれた生徒に渡しました。



### アルミ缶・ペットボトル回収収益金及び赤い羽根共同募金寄付金贈呈式 12月10日（水）

生徒集会において福祉環境委員会委員長より、松本市今井「特別養護老人ホームゆめの里今井」山崎様にはアルミ缶・ペットボトル回収の収益金、山形村社会福祉協議会田中様、宮田様には赤い羽根共同募金の収益金を贈呈しました。また1名の福祉環境委員が、1年間の福祉活動で学んだことや協力してくれた全校生徒への感謝の気持ちを発表しました。



# 令和7年度社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	長野県松本ろう学校	学校長名	丸山 妙子
所在地	〒399-0021 松本市大字寿豊丘 820 TEL 58-3094 FAX 85-1411	生徒児童数	幼稚部5名、小学部6名 中学部7名
担当教諭名	五味 重栄		

活動事業名	実施期日 参加者数	活動内容・感想・今後の課題等	
収集・リサイクル	通年 小学部 児童6名		<p>○アルミ缶の回収をポスターなどで全校に呼びかけています。各家庭からご協力いただき、集まったものは定期的に分別確認のうえ、計量し、保管しています。関係工場の見学を兼ねて搬入・換金しました。</p> <p>換金したお金は、児童会活動資金として、文具類の購入や、花を育てたりする活動資金としています。</p>
施設等訪問・交流	6月4日 9月3日 6月21日 7月12日 11月22日 幼稚部 幼児5名	<p>○内田保育園や青い鳥幼稚園との交流をしています。今年も互いの園を歩き来して交流を行いました。普段、少人数で生活をしていることもあり、当初は大人数での活動に戸惑う様子もありました</p> 	 <p>が、交流を進める中で徐々に慣れ、一緒に手をつないだり、ことばでやりとりしたりする姿が見られました。普段とは違った環境の中、交流を通してたくさんの友だちと関わる経験ができました。交流園の友達も毎年楽しみにしてくれています。</p>
施設等訪問・交流	通年 中学部 生徒7名	<p>○明善中学校との交流を毎年行っています。明善中学校の生徒会集会では、一緒に手話を交えた歌を歌いました。互いの文化祭見学も実施しています。明善中緑化委員会と協力し、交流花壇</p> 	<p>に一緒に花の苗を植えたり、草取りや花摘みを行ったりしてきました。</p> <p>○長野ろう学校との交流は、オンラインで実施しました。自己紹介をしたり、互いにメッセージを交換したりしてきました。</p> 



## 令和 7 年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	長野県松本養護学校	学校長名	永田 寛尚
所在地	長野県松本市大字今井1535	生徒数	15名
担当名	高等部 村澤 鮎弥		

活動事業名	実施期間・参加者数	活動内容・感想・今後の課題など
<p>環境整備 花のある学校づくり</p>	<p>通年 参加生徒:生徒会 15名</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>○学校のメイン花壇と道路沿いにある丸花壇の整備</p> <p>作業学習の園芸班で栽培しているパンジーやマリーゴールドを、間隔を意識しながら花壇いっぱいには咲くように植えつけました。暑さの厳しい中での作業では、仲間と協力して取り組むことができました。夏場も継続して草取りを行い、寒暖の環境を整えてきました。地域の方に、「きれいに咲いているね。」「散歩で毎日花を見るのが楽しみなんだよ。」と話しかけてもらえとても嬉しく思いました。11月にはチューリップの球根を植え、新入生が来る頃に花が咲くことを生徒たちは楽しみにしています。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
<p>環境整備 地域とのつながり 奉仕活動</p>	<p>通年(月に1回程度) 参加生徒:生徒会 15名</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>○今井支所公民館の清掃作業</p> <p>学校近くの支所や公民館において、月に1回程度の清掃活動を行いました。会議室や階段の泥汚れやほこりをほうきや水モップを使ってより丁寧に清掃しました。継続した取り組みにより、施設を利用する方々が気持ちよく過ごせる環境作りにつながり、生徒たちにとっても達成感のある有意義な活動となりました。</p>


## 令和7年度 社会福祉普及校事業活動報告書

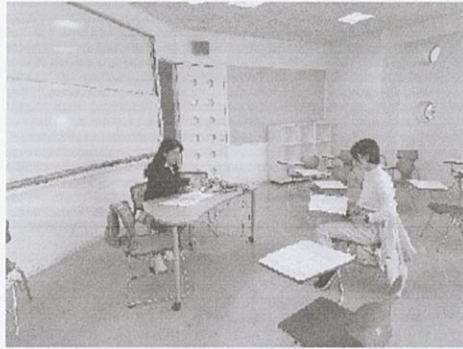
学校名	エクセラシオン高等学校	学校長名	西沢 宏
所在地	〒390-0221 長野県松本市里山辺 4202 TEL 0263-32-3701 FAX 0236-35-9080		生徒数 321名 (2月現在)
担当教諭名	宮澤 和加子		

活動事業名	実施期日 (参加者)	活動内容・感想・今後の課題等
1. 広報・周知活動  	7月5日 (福祉科 19名)	<b>小中学生向けの福祉体験イベントの開催</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉に興味を持ってもらえるきっかけ作りとして、松本市や県・松本市社会福祉協議会、松本短期大学、地域の福祉施設・企業と連携して、小中学生を対象にイオンモール松本で実施した。</li> <li>・車いすやリーチャー等の福祉用具を楽しみながら体験できる企画を用意し、多くの子どもたちに参加してもらうことができた。</li> <li>・次年度の開催に向けて、小中学生にイベント準備段階から何か一緒に取り組めないか模索中である。</li> </ul>
2. 文化祭等	7月26日・27日 (福祉科 19名)	<b>①福祉用具の体験学習会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉科の学習発表の一環として、授業で学んだ福祉用具を在校生や来客者に紹介した。</li> </ul> <b>②障がい者就労施設の商品の委託販売</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉科の実習でお世話になっている障がい者就労施設に依頼し、施設で作られた商品の委託販売を企画した。</li> </ul>
3. 施設訪問・交流	6月20日・ 9月26日 (福祉科 7名)	<b>松本養護学校交流会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスに分かれてレクリエーションを一緒に行い、交流した。</li> </ul>
4. 環境整備	9月24日/通年 (全校/ボランティア部 20名)	<b>校外清掃</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献として、学校周辺の清掃を行った。</li> </ul>

2025年度（令和7年度） 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	信濃むつみ高等学校	学校長名	水野 尚哉
所在地	〒390-0832 松本市南松本 1-13-26 TEL : 0263-27-3700 FAX : 0263-27-2870	生徒数	541 名
担当教諭名	佐々木 史恵		

活動事業名	実施期日・場所・参加者数	活動内容・感想・今後の課題など
<p>&lt;事業名&gt; 手話ゼミ</p> <hr/> <p>&lt;趣旨&gt; ゼミを通じて、体験的に手話をまなび、手話に必要な表情や体の動きを知る中でコミュニケーションの在り方についてとらえ直す。</p>	<p>ゼミ実施日・各回の参加者数 2025年 7月24日（3名） 10月23日（2名） 11月21日（6名） 1月20日（2名） 計4回・延べ13名 主な活動場所：信濃むつみ高等学校</p> <hr/> <p>信濃むつみ高等学校 SpaceⅣ・SpaceⅡ等にて</p> <p>&lt;市や町、色の手話をまなぶ&gt;</p> 	<p>基本的に各回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者2～6名程度</li> <li>・活動は1時間半～2時間</li> <li>・内容は講師の宇留賀さんからその日のテーマに沿った手話を体験的にまなぶ。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信濃むつみ高等学校のスペースにて、手話通訳をおこなっている宇留賀さんをお招きし、活動をおこないました。</li> <li>・宇留賀さん自作の資料をもとに、まなびを展開していき、まなびの中で浮かび上がるさまざまな疑問や問題点を参加者がお互いに議論しながら活動をしました。</li> <li>・最初は手話について知ることからはじまりました。その後、指文字や挨拶を覚え、自己紹介ができるように練習を重ねました。</li> <li>・参加者がそれぞれ、自己紹介ができるようになると、各回の最初には参加者自身の挨拶と自己紹介から始まり、前</li> </ul>






回の復習を経て、新しいテーマにチャレンジしていきました。

- 今年度は参加者の希望で医療用語の手話についても学習しました。

- 手話における表情の重要性にも気が付き、普段マスクをしている生徒も途中からマスクを取って相手に表情が見えるように配慮する姿などもみられました。

## 令和7年度 社会福祉普及校活動報告書

学 校 名	松本深志高等学校	学校長名	倉田 慎司
所 在 地	〒390-8603 松本市蟻ヶ崎3-8-1 TEL 32-0003 FAX 37-1071	生徒数	24人
担当教諭名	湯澤 未季枝		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
<p>文化祭等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フードドライブ</li> <li>・募金</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロスに関する展示</li> </ul>	<p>7月11-14日(とんぼ祭)</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>	<p>全校生徒、来校者から食品、募金を募り、特定非営利活動法人NPO ホットライン信州様に寄付した。</p> <p>来場者及び部員もフードドライブや食品ロスに関する知識が深まる良い機会になった。</p> <p>事前の周知が不足しフードドライブで集まる食品が少量だったため、さらに広報を強化するべきだと感じた。</p> <p>食品ロスの知識を楽しく学べるクイズ、輪投げを用意し、得点に応じて食品をプレゼントした。配布した食品は特定非営利活動法人NPO ホットライン信州様に頂いた。</p> <p>集客効果があり、沢山のの人に食品ロスのことを知ってもらえた。</p> <p>頂いた食品は、元々廃棄されてしまう予定のものであったため、食品ロスの深刻さを実感した。</p>

# 2025年度（令和7年度）社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	長野県松本美須々ヶ丘高等学校	学校長名	久保村 智
所在地	〒390-8602 松本市美須々 2 - 1 TEL : 0263-33-3690 FAX : 0263-37-1076	生徒数	833名
担当教諭	清住 真達		

活動事業内容	実施期日・参加生徒数	活動内容・感想・今後の課題等
<p>リサイクル啓発活動</p> 	<p>5月7日～現在まで 全校生徒が参加</p> 	<p>コンタクトレンズの空ケースの回収活動 生徒会副会長の選挙公約として提案された《アイシティecoプロジェクト》が生徒総会で承認され実施した。 貸与された、回収ボックスを各HRと昇降口に設置し、生徒会で呼びかけをし通年で回収活動を行なっている。 5月から12月までの回収個数は、11,942個となっている。 予想以上の回収量で、リサイクルの意識が高まっているように感じる。</p>
<p>花いっぱい運動</p>  	<p>2月12日（木） 生徒会役員20名</p>  	<p>例年地球温暖化防止の啓発活動と校内美化の観点から、《花いっぱい運動》を生徒会で取り組んでいる。 今年度は、冬から春にかけて校内に彩りを与え、また、新年度新入生を彩り豊かな花で迎えられるように、チュウリップ、クロッカス、ビオラをプランターに植え付けた。来年度以降も環境と校内美化の観点から継続して活動していきたい。</p> 